

北米・欧州親善訪問（Atlantic Eagles）の実施について

9月23日、航空幕僚長森田空将は、ノイマン・ドイツ空軍総監の招待に応じ、ドイツを訪問し、同総監とラーゲ基地の共同部隊視察を行いました。

その際、空自戦闘機等の北米・欧州親善訪問（Atlantic Eagles）のため展開中のF-15戦闘機がドイツに初めて降り立つ歴史的瞬間に共に立ち会いました。また、両者は同基地にて共同記者発表を行いました。

両者は2022年及び昨年の「ニッポン・スカイズ」のために独空軍機が訪日したことに触れ、今回、戦闘機による相互訪問が実現したことで、日独空軍種間の関係がさらに深化したことを歓迎しました。

空自は今後とも欧州・大西洋とインド・太平洋の安全保障は不可分であり、相互に関連しているとの認識の下、独空軍と連携を深めてまいります。

